

【がん種】 [大腸癌](#)
【レジメン名】 Trastuzumab+Pertuzumab
【登録番号】 160558
【1コースの期間】 3週間
【総コース数】 進行・再発:PDまで
【投与間隔調整規定】 -2日
【催吐性リスク】 最小度:パージェタ, ハーセプチン
【抗がん剤の組織障害性】 ノンビシカント(非壊死性):パージェタ, ハーセプチン
【投与量に制限のある薬剤】 なし
【主な有害事象】 注入に伴う反応、間質性肺炎、心不全

【必要な検査】 一般採血、心エコー
【根拠論文】 Nat Med 2021;27:1899-1903.

【点滴の時間】 [day1]初回3時間30分、2回目～2時間
【その他】 対象患者:HER2+
 パージェタ:投与間隔が6週間を超える場合は840mg/日で投与、ハーセプチン:投与間隔が4週間を超える場合は8mg/kg/日で投与.

Rp	薬剤名	量	投与方法	投与時間	投与日		
					1	...	21
1	生理食塩液 250mL	1 B	メイン	キープ&フラッシュ	○		
2	生理食塩液 250mL パージェタ点滴静注	1 B - mg/回	側管	初回1時間、2回目～30分	○		
	初回840mg/body、2回目～420mg/body						
3	生理食塩液 250mL ハーセプチン注射用 注射用水 20mL	1 B - mg/kg 1 A	側管	初回90分、2回目～30分 ハーセプチン溶解用	○		
	初回8mg/kg、2回目～6mg/kg						

【Trastuzumab+Pertuzumab減量・休薬・中止基準】

Nat Med 2021;27:1899-1903.

【パージェタ及びハーセプチンの投与基準】

有害事象	Grade	
LVEF \geq 50%	LVEF低下量 $>$ 20%	投与を継続し、3週間以内にLVEF再測定
LVEF $<$ 50%	LVEF低下量 $<$ 10%	投与を継続し、3週間以内にLVEF再測定
	LVEF低下量 \geq 10%	投与を延期し、3週間以内にLVEF再測定

・再測定時LVEF低下なし (LVEF低下量 $<$ 10% or LVEF \geq 50%) : 投与再開
・再測定時LVEF低下あり (LVEF低下量 \geq 10% or LVEF $<$ 50%) : 投与中止

注入に伴う反応	3以上	原因薬剤を中止
---------	-----	---------